

Kyoto University

京都大学散策マップ

北部キャンパス

●演習林日本部事務室

(登録有形文化財)

1931(昭和6)年竣工。スペイン瓦を葺いたバンガロー風の建物で、外周や中庭に面してベランダが配され、周囲の景観に溶け込んだつくりとなっている。

●湯川記念館

(基礎物理学研究所)

1952(昭和27)年竣工。1949年の湯川秀樹教授のノーベル賞受賞を記念して建てられた。

ゆかわ ひでき

●湯川秀樹 胸像

元基礎物理学研究所教授(1907~1981)。専門は理論物理学。1949年、日本人として最初のノーベル物理学賞を受賞した。

●農学部表門・門衛所

(登録有形文化財)

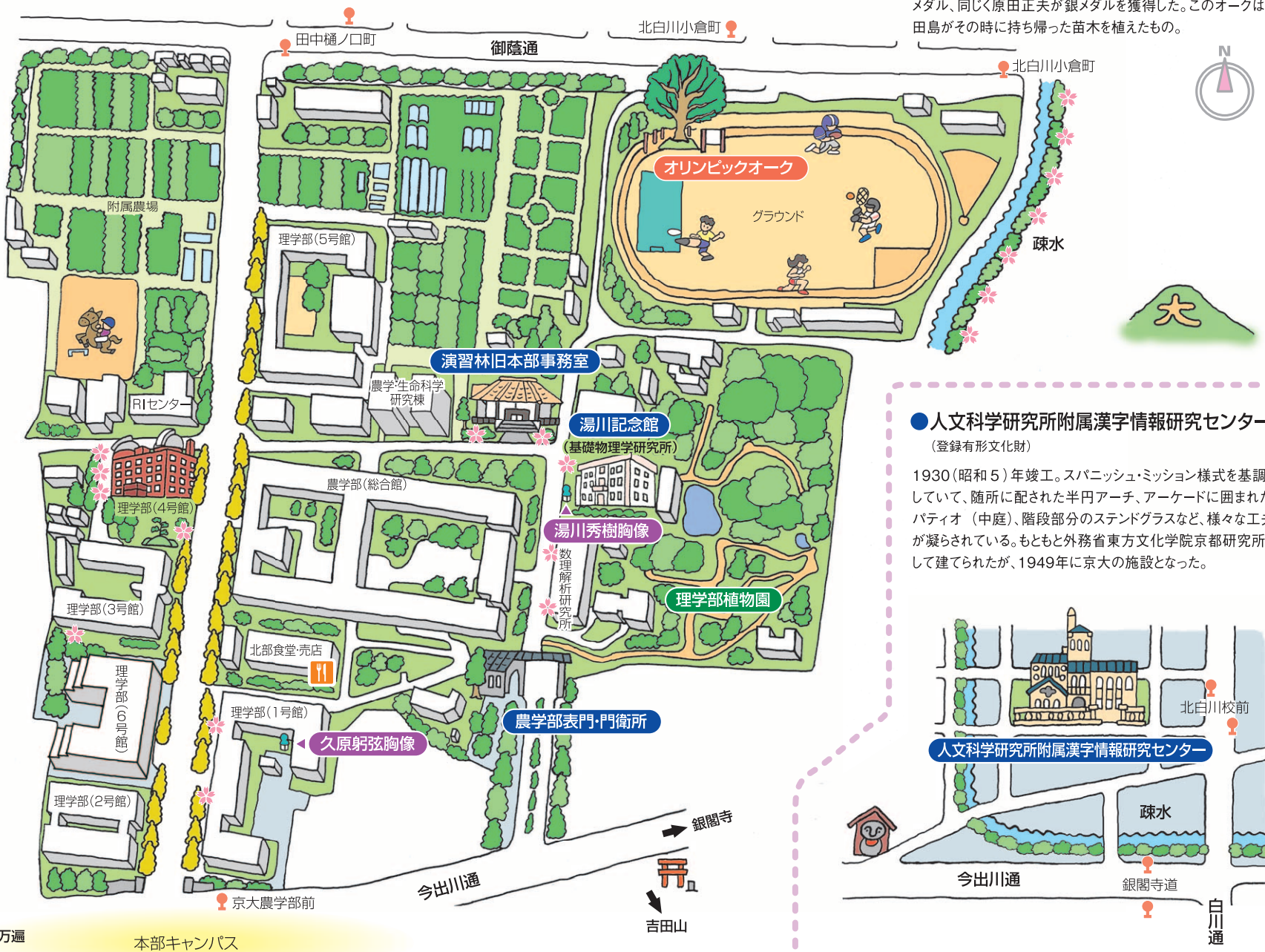
1924(大正13)年竣工。大胆な意匠の上部に日本瓦を頂く独特のつくりになっている。北部キャンパスは、農学部の設置に備えて1921年にほぼ全域が京大の敷地になった。農学部や理学部の建物のほか、農場や演習林試験地、植物園、さらに運動場などがあり、教室や実験棟が建ち並ぶ他のキャンパスとは異なった景観を備えている。

くはら みつる

●久原躬弦 胸像

元理学部教授(1855~1919)。専門は理論有機化学。第三代総長も務めた。

🍴 食堂



●オリンピックオーク

1936(昭和11)年のベルリンオリンピック三段跳びで、京大をその春に卒業したばかりの田島直人が世界新記録で金メダル、同じく原田正夫が銀メダルを獲得した。このオークは、田島がその時に持ち帰った苗木を植えたもの。

●人文科学研究所附属漢字情報研究センター

(登録有形文化財)

1930(昭和5)年竣工。スパニッシュ・ミッション様式を基調としていて、随所に配された半円アーチ、アーケードに囲まれたパティオ(中庭)、階段部分のステンドグラスなど、様々な工夫が凝らされている。もともと外務省東方文化学院京都研究所として建てられたが、1949年に京大の施設となった。

